

# 第95回日本細菌学会総会

総会長 菊池 賢 (東京女子医科大学 感染症科 教授)

令和4年3月29日(火) - 31日(木) オンライン開催

## シンポジウム・ワークショップ企画の公募について

第95回日本細菌学会総会のシンポジウム・ワークショップの企画提案を以下の要領で公募いたします。第95回総会は「多様性から見えてくる細菌学の未来」をテーマとし、異業種、異分野の研究者間で交流できる場を提供することを目指しており、特に他学会との共催、共同企画シンポジウム・ワークショップの応募は優先的に採択させていただきますので、是非企画をご検討ください。また同時に若手研究者からの企画も歓迎いたしますので、細菌学の広い分野からの企画を奮ってご応募下さい。

### ■注意事項

- ①学会企画(「中・高校生の研究発表セッション」)・総会長企画を除く、全ての公募企画については同一人物がコンビーナを複数企画で担当することはできません。必ずコンビーナ/オーガナイザーは1企画のみでご担当になるように調整して申請して下さい。
- ②既に決定している総会長企画(資料1を参照)とは重複がないようにご配慮ください。

### ■オンライン開催

本総会は第94回総会に引き続き、オンラインで開催いたします。シンポジウム/ワークショップ(選抜ワークショップを含む)はZoomウェビナーを用いたリアルタイム口頭発表形式となります点もご了承下さい。会議実施の詳細につきましては、企画採択時に事務局よりお知らせ致します。

## 公募企画の種類

### 【シンポジウム・ワークショップ】

依頼講演からなる、1テーマ2時間30分のシンポジウム企画枠を13枠と1テーマ2時間のワークショップ企画枠を13枠(学会本部としての企画【枠数未定】ならびに一般演題からの選抜ワークショップ4~5枠を含むので予めご了承下さい)、また今回もイブニングセッション企画枠を2枠(予備枠あり)を設定いたしました。イブニングセッション枠(19:00~21:00)については、時差のある海外からの講演者も参加できますので、企画提案にご活用頂けたらと思います。

## 企画の採択について

ご応募いただいた企画は、総会長、シンポジウム等企画調整委員会で審議調整したうえで採否を決定し、コンビーナ(提案者)にお知らせいたします。なお、他学会との共催や共同企画の場合は、審議時に優先性を考慮させて頂きたいと考えております。採択された

企画内容の構成は原則として提案者にお任せいたしますが、総会長もしくはシンポジウム等企画調整委員会から調整・変更等をお願いする場合がありますことをご理解ください。

## 応募方法

下記事項をご記入のうえ、日本細菌学会事務局までE-mail (gakkai23@kokuhoken.or.jp)にてご提案ください。

- 1) 企画タイトルと研究領域区分（資料1を参照のこと）・キーワード
- 2) コンビナーの氏名・学会員番号・所属・連絡先（メールアドレスも必須）
- 3) 概要（400字以内）
- 4) 想定演者（案）の氏名・所属
- 5) 想定聴衆数とイブニングセッション枠の利用の可否（都合により、チャンネルやシンポジウム枠/ワークショップ枠の割り当てがご希望通りとはならない可能性がございますが、ご了承下さい）
- 6) 応募される内容については資料1を参考にして下さい。

**提案締切 ~~2021年7月26日（月）~~ **2021年8月9日（月）まで延長します****

(資料1)

## 第95回日本細菌学会総会の学術企画の提案に際して

(1) 総会長企画としまして、以下の企画を開催することを予定しております。シンポジウム/WSの提案に際しまして、重複のないようにご配慮下さい。

案1：産学官連携シンポジウム（仮）

案2：細菌学研究者 メモリアルシンポジウム（仮）

案3：プラスミドに関するシンポジウム ー日本農芸化学会 共催ー（仮）

(2) また本年度の総会におきましては研究領域区分を、以下のように設定しております。学術企画を考える上で、ご参考にして頂けますようお願い申し上げます。

1. 分類・疫学・感染症
2. 生態
3. 生理・構造
4. 遺伝・ゲノミクス・バイオテクノロジー
5. 病原性
6. 生体防御
7. 抗菌性物質・薬剤耐性